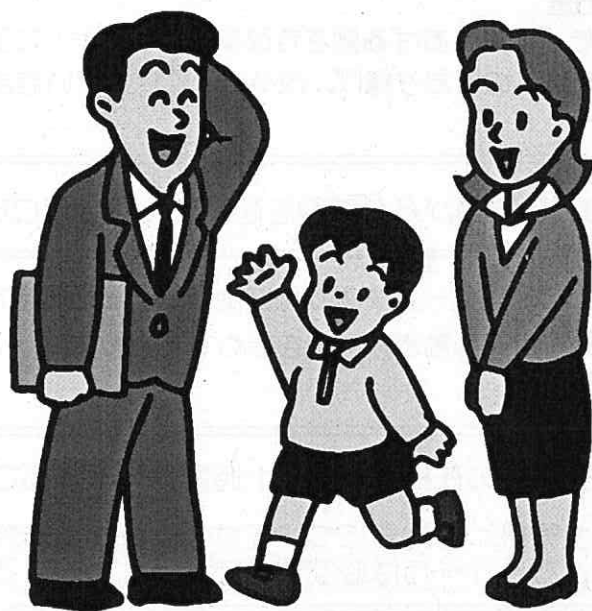


国分寺市立学校における 働き方改革推進プラン



平成31年1月
国分寺市教育委員会

1 働き方改革の目的

教員一人一人の心身の健康保持の実現と、誇りとやりがいをもって職務に従事できる環境を整備することにより、学校教育の質の維持向上を図る。

国分寺市教育委員会では、教員の長時間労働の改善に取り組み、学校教育の質の維持向上を図ることを目指し、「国分寺市立学校における働き方改革推進プラン」を策定します。

2 本プランの位置付け

本プランは、東京都教育委員会（以下、都教育委員会）が作成した「学校における働き方改革推進プラン」に基づき、国分寺市立学校の設置者である国分寺市教育委員会（以下、市教育委員会）が策定した実施計画です。

今後、市教育委員会は本プランにより、国分寺市立学校における働き方改革を着実に推進するとともに、目標の達成状況を検証し、必要な施策の見直しを行うなど、継続的に学校の働き方改革に取り組んでいきます。

3 働き方改革の目標

都教育委員会が策定した「学校における働き方改革推進プラン」に基づき、市教育委員会においても、当面の目標を以下のとおり掲げ、改革に取り組んでいきます。

当面の目標

週当たりの在校時間が60時間を超える教員をゼロにする。

この目標を達成するために、教員一人一人が、時間を意識した働き方を日々実践できるよう、以下の取組方針を定め、教員の働き方改革を進めていきます。

取組方針

- (1) 平日は、1日当たりの在校時間を11時間以内とすること。
- (2) 週休日である土曜日、日曜日については、連続して業務に従事することがないように、どちらか一方は必ず休養できるようにすること。

4 働き方改革の取組の方向性

都教育委員会が作成する「学校における働き方改革推進プラン」に基づき、国分寺市立学校における働き方改革の取組の方向性の柱を以下の5点とし、これらを組み合わせて総合的な対策を講じていきます。

- (1) 在校時間の適切な把握と意識改革の推進
- (2) 教員業務の見直しと業務改善の推進
- (3) 学校を支える人員体制の確保
- (4) 部活動の負担を軽減
- (5) ライフ・ワーク・バランスの実現に向けた環境整備

5 現状の課題

平成 30 年 6 月に、市教育委員会が実施した教員勤務実態調査やアンケート調査の結果（※P 6～10【参考】参照）を基に、国分寺市立学校における働き方改革検討委員会で分析したところ、以下の課題が明らかとなりました。

「（１）在校時間の適切な把握と意識改革の推進」に関わる課題

- ・勤務時間の実態を把握するために、在校時間の管理が必要。
- ・子どもたちのためという思いから、勤務時間を超えて働く教員が多いため、働き方への意識改革が必要。

「（２）教員業務の見直しと業務改善の推進」に関わる課題

- ・学校規模により、1人当たりの業務量が異なっている現状があり、改善が必要。
- ・PCを使用できる人等に仕事が集中している。全体的なスキルアップと簡易なシステムの導入が必要。
- ・各種委員会や行事等の精選等、業務量全体の改革が必要。

「（３）学校を支える人員体制の確保」に関わる課題

- ・副校長の業務量が多いため、軽減が必要。
- ・支援員やスクール・サポート・スタッフ等の人員補充の拡充が必要。
- ・地域や保護者のボランティア等、協力を得る仕組みの構築が必要。

「（４）部活動の負担を軽減」に関わる課題

- ・部活動に関わる業務時間が多く、部活動の在り方に関する改善が必要。
- ・週休日における活動や大会参加による負担が大きく、人員等の支援が必要。
- ・希望しない部活動の指導であっても、体制上、引き受けざるを得ない状況となっているため、外部人材の活用を含めた役割分担方法の検討が必要。

「（５）ライフ・ワーク・バランスの実現に向けた環境整備」に関わる課題

- ・ライフワークとして、長時間の勤務が習慣となっている教員もいるため、意識改革が必要。
- ・休暇取得促進日を増やすなど、年次休暇等の取りやすい環境の整備が必要。

6 働き方改革の具体的な取組

現状の課題を踏まえ、5点の取組の方向性の柱に沿って、これまでの取組を継続するとともに、以下に示す新たな取組を進めていきます。

「(1) 在校時間の適切な把握と意識改革の推進」に関する取組

市教育委員会で実施すること

①勤怠管理システムの導入

在校時間を適切に把握するため、またその作業が管理職等の事務負担とならないようにするため、勤怠管理システムを導入します。

②市民への理解啓発

教員の正規の勤務時間について、教育委員会だよりや市のホームページ等を通じて、市民全体への理解啓発を図ります。

学校で実施すること

①教員の意識改革

教員一人一人における時間を意識した働き方の実践を促すため、定時退庁日や休暇取得の目標値を設定したり、管理職との面談や研修を通して働き方改革の意義を確認する機会を作ったりする等、長時間労働改善への取組を学校の実態に応じて工夫します。

②保護者・地域への理解啓発

教員の正規の勤務時間について、学校便りや保護者会、学校運営協議会等を通じて説明し、保護者や地域への理解啓発を図ります。

「(2) 教員業務の見直しと業務改善の推進」に関する取組

市教育委員会で実施すること

①校務支援システム導入の検討

成績管理やデータ共有等に資する校務支援システムの導入を検討します。

②教員研修や各種委員会等の見直し

教員研修や各種委員会等の実施回数や実施時間等を見直します。

③学校の業務と市や市教育委員会の業務の整理及び見直し

現在学校が行っている施設管理や各種調査等の業務の中で、市や市教育委員会で行うべき業務について整理し、見直します。

学校で実施すること

①会議の在り方や行事内容の精選

諸会議の必要性を再検討し、設定回数や会議時間等を見直しを図ります。また、行事の精選を一層進めます。

②組織マネジメントの推進

業務内容に応じた役割分担について、現状を確認するとともに、1人に係る業務が適切な分量となるよう組織全体のマネジメントを工夫します。特に、副校長の業務軽減に向けた役割分担の見直しを図ります。

③学校徴収金の集金・管理等の見直し

教材費等の学校徴収金の集金・管理の方法を検討します。

④業務の見直しと効率化

これまで慣例となっている業務を含め、業務内容の見直しを行います。内容に応じて、統合や簡略化等を進めるとともに、ICTの活用を推進し、業務の効率化を図ります。

「(3) 学校を支える人員体制の確保」に関する取組

市教育委員会で実施すること

① スクール・サポート・スタッフの配置

教材準備や配布物の印刷、会議の準備などの事務作業を行うスクール・サポート・スタッフの全校配置を進めます。

② サポート教室の全校設置及び中学校における支援員の配置時数の拡充

「第3次特別支援教育基本計画（義務教育時）」を踏まえて、サポート教室を全校に設置するとともに、中学校全校におけるサポート教室の支援員の配置時間数の拡充を検討します。

③ 外部人材採用のサポートの推進

外部人材採用に関する副校長の業務を軽減するため、学生ボランティア等の採用をサポートする方法を検討します。

学校で実施すること

① 外部人材の積極的な活用

学生ボランティアや地域ボランティア等、外部人材の積極的な活用を図ります。

「(4) 部活動の負担を軽減」に関する取組

市教育委員会で実施すること

① 部活動指導員の活用

教員に代わり部活動の指導業務を担当できる部活動指導員の活用を推進します。

② 外部指導員の活用拡充

外部指導員の積極的な活用を啓発し、拡充を図ります。

学校で実施すること

① 方針の適切な管理運営

「国分寺市教育委員会 運動部活動の在り方に関する方針」に基づき、各校の活動方針や年間計画を定め、適切に管理運営します。

「(5) ライフ・ワーク・バランスの実現に向けた環境整備」に関する取組

市教育委員会で実施すること

① 休暇取得促進日の周知及び当日の窓口受付

学校が実施する長期休業中等の休暇取得促進日について、市報やホームページ等により市民への周知を図ります。なお、各学校の休暇取得促進日当日は、保護者や市民からの問い合わせ等を市教育委員会で受け付けます。

学校で実施すること

① 休暇取得促進日の設定・拡充

長期休業中等の休暇取得促進日を設定するとともに拡充を検討します。

② 休暇を取得しやすい環境作り

休暇取得を促進するため、教員への休暇制度の周知、育児・看護・介護等への理解啓発などを通して、休暇を取得しやすい環境作りを進めます。

7 推進プランの評価と見直し

市教育委員会は推進プランの効果について、国分寺市立学校の管理職等からのヒアリング等で検証し、必要に応じて推進プランの見直しを図ります。また、今後、国や都教育委員会から新たな目標値や取組方針等が示された場合には見直しを図ります。

8 国分寺市立学校における働き方改革推進プラン検討委員

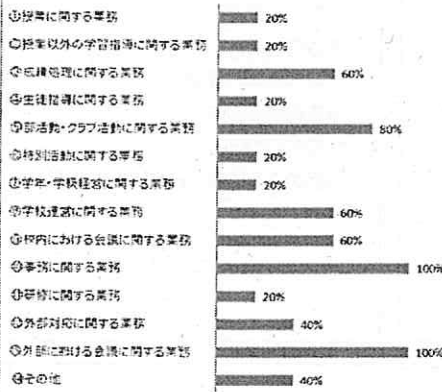
職名	氏名（学校名）	備考
小学校校長	藤原 栄子（第七小学校）	
中学校校長	松本 信之（第三中学校）	
小学校副校長	鈴木 竜二（第三小学校）	
中学校副校長	岡本 祐治（第五中学校）	
小学校主幹教諭	前多 紀子（第九小学校）	
中学校主幹教諭	歌田 孝久（第二中学校）	
都費事務職員	森 明志（第六小学校）	
教育総務課長	日高 久善	委員長
学校指導課長	松浦 素明	副委員長
学務課長	中島 弘美	

中学校

これまで、取り組んできたこと

今後、取り組みたいこと

中学校 校長



- ・勤務時間の管理
- ・校務分掌の改善
※教務部会等校内会議の効率化
出席すべき教員の限定化
- ・会議の時間厳守
- ・校内研修の効率化
- ・人事配置の工夫
- ・スクール・サポート・スタッフの活用
- ・学生ボランティア

- ・教員の最終退校時刻の設定
(午後 8 時目安)
- ・各自が勤務時間短縮のための努力目標を設定
- ・年休取得率の向上
- ・長期休業における時差勤務の実施
- ・校務分掌の委員会、推進委員会の整理
- ・義務教育における個人情報の一元化
- ・部活動ガイドラインに沿った運営

中学校 副校長



- ・積極的なジョブローテーション
- ・机上、ロッカー内、資料等プリント類、メール等の整理・整頓
- ・主幹教諭、主任教諭との連携
- ・勤務時間の管理 (1日 11 時間以内)
- ・共有フォルダを活用した資料等の共有化
- ・ディスクネットの効果的な活用

- ・スクール・サポート・スタッフの活用
- ・事務作業の効率化 (ICT の有効活用)
- ・職員会議資料等のペーパーレス化

中学校 主幹教諭・指導教諭



- ・システム化された授業ワークシートを用いたプロジェクト形式の授業
- ・行事における準備片付けの工夫
- ・分掌部会での早目の提案と議題の分散
- ・成績処理の効率化
※問題作成や採点の簡素化

- ・校務分掌における文書データ等の整理
- ・市主催の行事参加の練習方法改善
- ・研修の報告書の簡略化と資質向上

中学校 主任教諭



- ・教材等の共有
- ・ICT や教員の活用
- ・クラスアシスタントやALT の活用
- ・時間の使い方の工夫
- ・会議の提案方法の工夫
- ・部活動ガイドラインの遵守

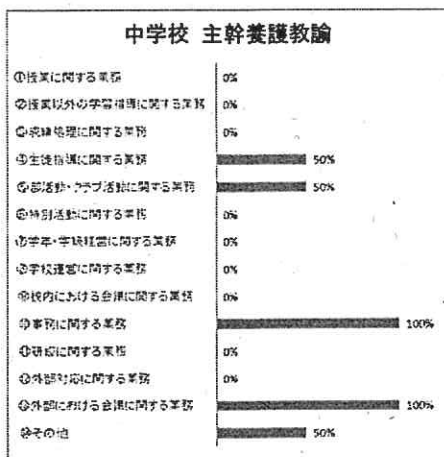
- ・時間の有効活用
- ・PTA 関連業務の見直し
- ・ICT 環境整備 (成績処理、校務支援システム等)
- ・成績処理のシンプル化
- ・教員の休憩場所の確保
- ・スクール・サポート・スタッフの活用
- ・部活動指導員の早期導入
- ・部活動の活動方法の見直し
- ・生徒会の外部活動への参加の見直し
- ・理科の実習助手の配置
- ・事務員の増員
- ・受験に関する調査書の統一様式化
- ・授業の持ち時間数の削減
- ・提出書類の削減
- ・放課後の活動の減少

これまで、取り組んできたこと 今後、取り組みたいこと



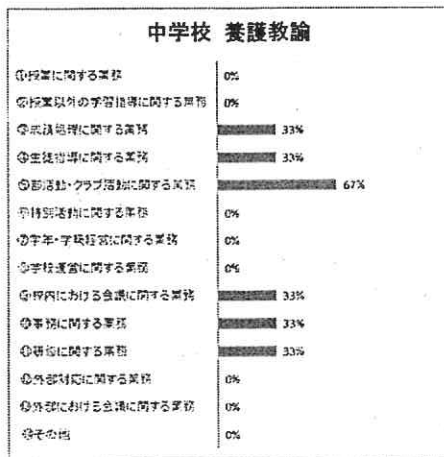
- ・効率性、平等性を踏まえた役割分担
- ・組織的な情報共有
(引き継ぎマニュアルの作成)
- ・報告書の数の調整
- ・ICTの活用
- ・情報の共有化
- ・時間の使い方の工夫
- ・行事規模の縮小

- ・ICTの活用
- ・情報の共有化
- ・研修や会議の精選
- ・報告書等の削減
- ・組織的な情報共有
- ・部活の外部指導員の活用



- ・帰宅時間の目標設定
- ・学校保健協議会の見直し

・なし



・なし

- ・部活動の外部指導員制度の充実
- ・SCやSSWの派遣日数の増加

アンケート項目（現在の業務の中で業務内容の削減や効率化が必要と思うものについて）

① 授業に関する業務	授業、授業準備 等	⑧ 学校運営に関する業務	校務分掌事務、若手育成・実習生指導 等
② 授業以外の学習指導に関する業務	補習指導、宿題への対応 等	⑨ 校内における会議に関する業務	職員会議、学年会 等
③ 成績処理に関する業務	採点、評価、問題作成 等	⑩ 事務に関する業務	各種調査、私費会計、日誌記入 等
④ 生徒指導に関する業務	生活指導、進路指導、安全指導 等	⑪ 研修に関する業務	校内研修、都や市における研修
⑤ 部活動・クラブ活動に関する業務	部活動指導、クラブ活動における指導 等	⑫ 外部対応に関する業務	保護者・地域対応、関係機関対応 等
⑥ 特別活動に関する業務	学校行事、児童会・生徒会活動 等	⑬ 外部における会議に関する業務	都や市の委員会、説明会 等
⑦ 学年・学級経営に関する業務	学年・学級通信作成、教室環境整備 等	⑭ その他	上記に分類できない業務

小学校

小学校 校長



これまで、取り組んできたこと

- ・会議や行事の精選
- ・会議時間等の厳守
- ・出退勤の管理
- ・定時退勤の促進
- ・ICTの活用
- ・提出期限の厳守
- ・計画的な職務遂行
- ・教材等の整理
- ・保護者向けお便りの精選
- ・学校支援部の設置と活用
- ・スクールサポートスタッフの活用
- ・退職教員のボランティアの活用

今後、取り組みたいこと

- ・行事等の見直し
- ・ICTの活用
- ・スクールサポートスタッフの活用
- ・学年便り等の簡略化
- ・教材の共有化
- ・私費会計の引き落とし
- ・調査や教務関連処理の事務への移行
- ・保護者ボランティアによる環境整備

小学校 副校長



- ・会議時間の厳守
- ・会議の精選
- ・定時退勤の促進
- ・スクールサポートスタッフの活用
- ・退職教員ボランティアの活用
- ・若手教員の育成（OJTの日常化）
- ・自己申告等を活用した計画的な業務遂行
- ・データの共有化
- ・組織の見直し

- ・定時退勤日の設定
- ・ICTの活用
- ・校務支援システムの導入・活用
- ・教材等の共有化
- ・会議・行事等の見直しと精選
- ・スクールサポートスタッフの活用
- ・年齢のバランスのとれた教員配置
- ・地域との連携
- ・私費会計業務の見直し
- ・共同事務実施に伴う業務の見直し
- ・自己申告を活用した検証

小学校 主幹教諭・指導教諭



- ・計画的な職務の遂行
- ・会議の工夫
- ・会議や行事の精選
- ・ICTの活用
- ・データの共有化
- ・業務の役割分担
- ・業務内容の効率化

- ・有給休暇の積極的な消化休暇
- ・教員以外の方との職務分担
- ・職員の能力向上
- ・ICTの活用
- ・調査等の精選
- ・会議や行事等の精選

小学校 主任教諭



- ・計画的な業務遂行
- ・時間の有効活用
- ・業務の役割分担
- ・児童理解を踏まえた学級経営
- ・ICTの活用
- ・データや資料の共有化
- ・ボランティア等の活用
- ・会議や行事の精選

- ・時間の効果的な活用
- ・文書やお便りの精選
- ・時間割の工夫
- ・業務の分担・引き継ぎの工夫
- ・ICTの活用
- ・会議の工夫
- ・行事等の精選
- ・業務の見直し・効率化
- ・PTAとの役割分担
- ・私費会計の引き落とし
- ・研修制度の見直し
- ・教職員の配置増加

これまで、取り組んできたこと

今後、取り組みたいこと



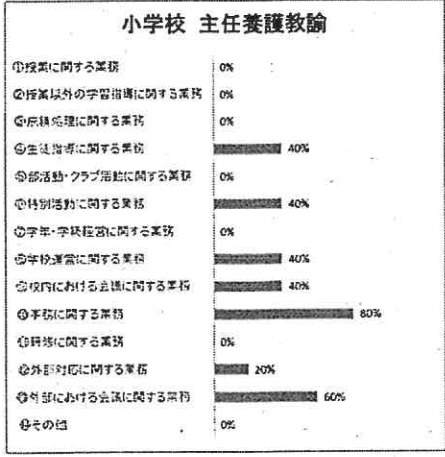
- ・ICTの活用
- ・教材等の共有化
- ・時間の有効活用
- ・業務の効率化
- ・環境整備
- ・行事等の短縮

- ・ICTの活用
- ・イントラネットの活用
- ・教材の共有
- ・事務補助員の配置
- ・外部人材の活用
- ・英語専科教員の配置
- ・お便り、連絡網の改善
- ・授業観察時の配布物の削減
- ・会議の効率化
- ・集金の振込
- ・時間の有効活用
- ・環境の構造化
- ・保護者との連携方法の改善



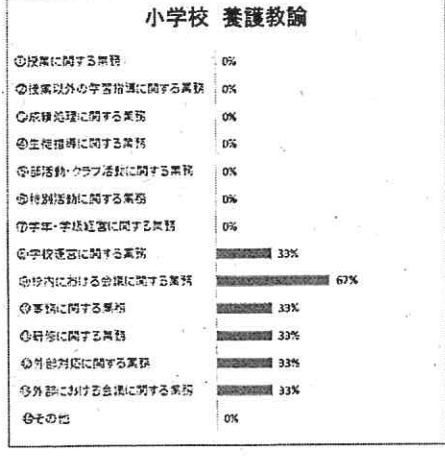
- ・ICTの活用

- ・ICTを活用した情報共有



- ・なし

- ・ペーパーレス化



- ・反省点、改善点等の記録の活用

- ・ペーパーレス化
- ・視覚化
- ・ユニバーサルデザインの活用

国分寺市立学校教員勤務実態調査結果

1 教員の1日当たりの在校時間

【平日1日当たりの在校時間】

本プランの策定に当たり、国分寺市教育委員会が市内小中学校の勤務実態について調査したところ、平日1日当たりの在校時間について、小学校では副校長、校長、教諭、養護教諭の順に長くなっており、中学校では副校長、教諭、校長、養護教諭の順となっている。

また、右側の東京都の数値と比較すると、小学校の校長及び養護教諭が東京都の数値よりも高い状況となっている。

■教員の1日当たりの在校時間《平日》

平日	小学校		中学校	
	《国分寺市》	《東京都》	《国分寺市》	《東京都》
校長	11:11	10:56	9:24	10:53
副校長	11:37	12:55	10:47	12:09
教諭	11:05	11:27	10:13	11:32
養護教諭	9:58	9:37	8:26	10:21

【土日1日当たりの在校時間】

土日1日当たりの在校時間について、小学校では副校長、校長、教諭、養護教諭の順に長くなっており、中学校では教諭、副校長、校長、養護教諭の順となっている。

いずれの教員の区分においても、東京都の数値より低い数値となっているが、学校行事や部活動等の対応により、中学校の教諭が比較的高い数値となっている。

■教員の1日当たりの在校時間《土日》

土日	小学校		中学校	
	《国分寺市》	《東京都》	《国分寺市》	《東京都》
校長	2:17	3:19	3:07	5:32
副校長	3:59	5:41	5:38	6:39
教諭	1:54	3:01	6:22	8:22
養護教諭	1:16	1:21	2:06	4:34

2 教員の週当たりの在校時間

【週間当たりの在校時間】

週間当たりの在校時間について、小学校では副校長、校長、教諭、養護教諭の順に長くなっており、中学校では副校長、教諭、校長、養護教諭の順となっている。

小学校の副校長は過労死ライン相当といわれる週60時間以上となっている。また、その他の教員の区分においても、週60時間未満ではあるが、中学校の副校長をはじめ、小学校の校長、小・中学校の教諭については、60時間に近い数値となっている。

■教員の週間当たりの在校時間

週間	小学校		中学校	
	《国分寺市》	《東京都》	《国分寺市》	《東京都》
校長	58:19	55:59	50:13	58:42
副校長	62:07	68:33	59:39	65:54
教諭	57:22	58:33	57:34	64:35
養護教諭	51:08	47:45	44:21	54:50